

令和3年度 第1回たつの市行財政改革推進委員会

－ 会議録 －

日 時：令和3年7月29日（木）午前10時～午前11時30分

場 所：たつの市役所 新館 301・302会議室

出席者：委員9名、市長、事務局 欠席者：委員1名

傍聴者：なし

1 会議内容

(1) 委嘱状の交付

(2) 市長あいさつ

(3) 委員・事務局紹介

(4) たつの市行財政改革推進委員会について

(5) 会長及び副会長の互選について

(6) 議事

①行財政改革の取組と現状について

②行財政改革推進実施計画の具体的取組項目について

③行政改革大綱（R4～R8）について

④行財政改革推進実施計画（R4～R8）の取組項目について

【協議事項①】

行政改革の取組と現状について（資料③、P3～8）

事務局より、取組状況等の説明を行い、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。

| | |
|-----|---|
| 委員 | 資料6ページの職員分布図について、女性の割合が少ないですが、優先的に女性を採用することはしていますか。 |
| 事務局 | 採用時に性別の条件を付けて募集することはできないため、優先的な採用はしていません。 |
| 委員 | 同じく、職員分布図で、経験者枠で採用年齢を40歳まで採用しているとのことですが、非常に20代の職員が少ないので、将来的に分布が逆三角形になる可能性があります。職員数を現状維持する中で難しいとは思いますが、若い世代の採用にも力を入れていく必要があるのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | 人口減少で、若い世代の採用が難しくなっている現状があります。採用試験については、専門試験のみでしたが、一部、専門試験なしの枠を設けています。令和4年度採用試験申込状況としては、事務職の募集人数6人程度のところ、専門試験ありが6人、なしが22人となっています。 神戸市では、デザイン専門職員等の採用も行っているため、本市でも参考にし、今後の採用方法については検討していきたいと考えています。 |

| | |
|--|--|
| 委員 | 専門試験とはどのようなものですか。 |
| 事務局 | 専門試験は、憲法、行政法、民法等、経済学等になります。共通の教養科目としては、時事、社会、数学、英語等の教養問題があります。民間の採用試験に合わせた試験内容にしています。 |
| 委員 | それでも応募人数が少ないですね。 |
| 事務局 | はい、倍率も4.7倍と低い状態です。 |
| 委員 | 資料5ページの地域振興基金32億円が毎年同じ額で推移していますが、何に使用されている基金なのか教えてください。また、使っていない理由、また使う予定があれば教えてください。 |
| 事務局 | 地域振興基金については合併時に地域振興を図るために作られた基金です。この基金は果実運用型基金として、毎年の利息を地域振興に関する事業に充当し、元金はそのままとしています。 |
| 委員 | 今後も元金を残して、利息分だけを活用していくのでしょうか。ちなみに、年間いくらの利息でしょうか。 |
| 事務局 | はい。今後も利息のみを使用していきます。利息は、年間約4,000万円弱となっています。 |
| <p>【協議事項②】 行政改革推進実施計画の具体的取組項目について（資料④参考資料 P9～29）</p> <p>事務局より、取組項目等の説明を行い、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。</p> | |
| 委員 | 資料14ページの病院事業の健全経営について、病院の経営形態が地方独立行政法人に変わりましたが、どのような状況でしょうか。 |
| 事務局 | 経常収支が約2億円の黒字となっており、一定の経営改善が進んでいると考えています。 |
| 委員 | 医師、看護師の採用状況はどうなっていますか。 |
| 事務局 | 看護師の数については予定通り正規採用できています。しかし、医師は常勤が少なく、非常勤により対応しています。常勤7人、非常勤は30人です。救急は夜間受付があるので、常勤だけではなかなか難しいため非常勤にもお願いしています。 常勤が少ないことは病院も認識しており、採用に向けて取り組んでいるところです。 |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>資料20ページの行政サービスの電子申請についてですが、手続きの流れを教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>例えば、住民票の写しの申請の場合、スマホ等を使用して申請をします。しかし、手数料の支払いや住民票の写しの交付については、実際に市役所に来庁する必要があります。</p> <p>電子申請とは言っていますが、実際はオンラインのみで手続きは完了できない状況です。</p> |
| 委員 | <p>市役所に来庁しなくても手続きが終わるようになれば、利用してみたいと思う方が増えると思います。</p> |
| 事務局 | <p>現在の取組としては、今年4月から押印廃止になった手続きに対してオンライン化の検討を進めています。その中でオンライン決済機能の付与についても検討しています。オンライン決済が可能になれば、自宅にいながら申請、支払いを行い、書類が郵送で届くようなサービスが可能になります。</p> |
| 委員 | <p>ホームページに掲載している電子申請の件数が、令和元年度から令和2年度にかけて急激に増えていますが、先ほどの説明ですと、一般の市民が申請していないと思いますが、業者が使用しているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>ホームページに掲載されている件数のうち、先ほどの16種類の電子申請の件数は5件であり、その他は小中学校から保護者へのアンケートを行った件数等ほかの申請が多くを占めています。</p> <p>今年であれば、たつのふるさと応援商品券の申請等も含まれています。</p> |
| 委員 | <p>そうであれば、ホームページを見た際に電子申請の利用実績について、事実誤認を招く可能性があるのではないのでしょうか。</p> <p>16種類の申請以外に使用されている旨を追記すべきではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>修正を検討します。</p> |
| 委員 | <p>資料20ページのマイナンバーカードの利活用について、図書貸券機能が付与されるとのことですが、マイナンバーカードを使用することによって、どのようなことが便利になるか教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>図書貸券機能については、まだ開始されていないため詳細は決まっていません。例えば、マイナンバーカードの健康保険証利用の場合ですと、就職や転職、引っ越しをした場合に保険証が変更になっても、マイナンバーカードはそのまま保険証として使用できるメリットがあります。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>資料13 ページの前処理場事業の処理経費の削減について、知事が代わり、今後の補助事業をゼロベースで考えるという話を聞きました。先日の副知事への陳情では、県に補助金を要望するならば、自治体が努力していることを表すような取組を積極的に行う必要があるのではないかと話がありました。</p> <p>皮革業界としては厳しい状況が続いており、今後改善するかは読みにくく、その中で受益者負担だけでは難しいと思います。その中で何か新しい取組が必要ではないかと考えています。</p> <p>例えば、兵庫県では川西市の皮革業者が姫路市、たつの市に集約された経緯がありますが、今後、たつの市内でも空き工場等を利用して業者を一か所にまとめることで処理費用等の削減になるのではないのでしょうか。</p> <p>これについて、市として今後の取組についてどのように考えていますか。</p> |
| 事務局 | <p>経費削減については、皮革組合、近隣市町で、毎年話し合い、県に陳情、国への陳情もしっかり行っています。</p> <p>経費削減の有効な手段があれば、組合、市、県でしっかり取り組んでいきたいと考えています。また、市の取組については、県へしっかり伝えながら今後も補助金の確保に努めたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>その上でですが、工場を集約することにより、現在3か所にある前処理場を、例えば松原の処理場1か所で済ませることで処理費用が削減できるのではないのでしょうか。</p> <p>市として、そのような新しい取組の検討も必要ではないかと考えています。</p> |
| 事務局 | <p>工場の場所を集約する場合、一定の地域に工場の場所を増やすというのは都市計画法の制約で難しいですが、今後の課題になるかもしれません。</p> <p>工場の集約については各組合で検討をいただいています。処理施設の運営については、流域で考える必要があります。姫路市、太子町と話し合いをしながら進めていきます。</p> |
| 委員 | <p>資料15 ページの水道事業の健全経営について、アセットマネジメントとありますが、水道管の老朽化が進み、漏水等もあり、市内全域の更新が必要になってきていると考えています。</p> <p>市内全域となると家が点在する地域では、各家庭まで水道管を引く必要もあり、水道管更新には莫大な費用が掛かりますが、壊れたところを少しずつ直してはきりが無いと思います。全域更新を年度ごとに計画的に進めるための計画はできていますか。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>水道管の耐用年数は約40年となっています。国が経営改革プランの策定を求めており、それに基づき、本市でも経営戦略を策定し、更新計画策定を検討しています。</p> <p>水道インフラは、人口減少により維持管理費用、使用料収入とのアンバランスが生じており、県でも大きな問題と捉えています。そこで県全体で広域化を検討していますが、県内でも、地域によっては上水道が一括整備されていない場所もあり、実際は、赤字のところを黒字のところが助ける形になるので、現実的には難しいと考えています。現在は、薬剤の共同発注等でメリットを生み出そうとしています。</p> |
| 委員 | <p>今年の冬は山間部で水道管の破裂等が多かったと思います。急激な温度低下もあり老朽化の影響とは言えませんが、国と相談して早めの更新をしていただければと思います。</p> |
| 委員 | <p>資料10ページの健全な財政運営のところ、ふるさと納税が順調に増えていますが、何か要因はありますか。</p> |
| 事務局 | <p>ふるさと納税については、平成元年度は約9,000万円、令和2年度は約2億800万円、倍率では約2.3倍に増加しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症で、巣ごもり需要の影響があったというネット記事がありました。本市では特に、麺類、トイレットペーパー等の家庭で使用する日用品の返礼品の需要が増えています。品目によっては、トイレットペーパーは4.5倍、素麺は5.8倍、米は6.2倍の増となっています。</p> |
| 委員 | <p>それでは、巣ごもりバブルはしぼんできて、令和3年度は減少するのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>今年度、現在までの3か月の状況でみると、令和2年度比で1.7倍となっておりますので、今のところまだ需要は伸びていると考えています。</p> |
| 委員 | <p>資料20ページにモバイル決済の導入についてありますが、今後はキャッシュレスを進めていくのでしょうか。IT化やクラウドサービスが進んでいる一方でセキュリティ対策が取り残されていると思います。責任の所在は明確になっているのでしょうか。PayPay等のモバイル決済は便利ですが、情報漏洩等の問題が起きているため、やはりクレジットカードの方が信用できると思っています。</p> <p>コロナ禍でお金を触らないことは良いことだと思うので、キャッシュレスを推進するのであれば、iD支払い（電子マネー）やクレジットカード等のタッチ式の支払方法は考えていないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>クレジットカード決済についてはモバイル決済より前に税関係で導入済です。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>利便性向上のために決済方法を増やしていますが、運営に当たっては、セキュリティ対策もしっかり取り組んでいきたいと考えています。</p> |
| 委員 | <p>市民はマイナンバーカードもまだ信用していない部分があると思います。安全性が市民に定着していないと思います。強制的に実施していかないと定着しないのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>現在、日本全体がキャッシュレスの方向に動いています。ある統計によると印刷局・造幣局での紙幣印刷は年間約600億円、ATM維持管理は約4,000億円かかっているため、ますますキャッシュレスが加速すると思います。</p> <p>市としては、あらゆる支払方法で利便性を高めるとともに、安全性を確保した上でキャッシュレス化を進めていきたいと思っています。</p> |
| 委員 | <p>資料2 1 ページの収納率の目標値について、担当課が設定している目標値を外部で評価していますか。</p> <p>固定資産税、健康保険料や等の未納者の事情、例えば経済的な困窮等の理由で支払いができない場合に、市としてどう対応しているのか教えてください。</p> <p>また、資料1 4 ページの市民病院についてですが、地方独立行政法人化によって、民間病院や診療所がある中で、地域医療への役割がどのように変わったのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>収納率の目標値について、市税に関しては全国の上位3分の1の5か年平均値から算出しています。その他については、H24からH28の5か年平均値にプラスアルファした値としています。</p> <p>目標値について妥当かどうかということは判断できませんが、今後策定するR4以降の行財政改革推進実施計画には、単純に過去の平均値から算出するのではなく、今後の動向を見据えた目標設定を検討します。</p> <p>税金の未納者への対応については、個々の事情を踏まえた上で担当窓口以案内しています。</p> <p>市民病院については、地方独立行政法人化前後での役割の変化はありません。地方独立行政法人化は経営改善の手法の一つであり、医療については公立病院のため、地域での診療、救急医療、へき地医療等の不採算医療を担うという役割を果たしています。</p> |
| 委員 | <p>市民病院の今後について、自由度が増すのであれば、これまでどおりの医療ではなく、民間の持っている機能を借りる等、共存共栄していく体制を考えていただきたいと考えています。</p> <p>税金の未納者への対応についても、縦割りではなく組織横断的に、うまく情報共有して、税金を払えない人の事情を踏まえ、将来的に払えるようにする取組をしていただけたらと思います。</p> |

【協議事項③】

行政改革大綱（R 4～R 8）について（資料⑤ P 30～31）

事務局より、R 4からR 8までの行政改革大綱（案）の説明を行い、意見交換を実施。

行政改革大綱（案）については、現行の行政改革大綱と同様に総合計画の後期基本計画の中に位置付け一体的な運用をしていくこと、内容については、前期基本計画の内容を引き継ぎ、見直しを行った旨を説明。

主な意見等の要旨は次のとおり。

| | |
|-----|--|
| 委員 | 赤とんぼ荘のあり方検討の必要性について、老朽化のため継続的な使用は難しいとのことですが、費用はかかりますが更地にして新しい使用を考えるとどのような検討はありますか |
| 事務局 | 現在、赤とんぼ荘利活用について公募型プロポーザル方式により民間事業者を募集しており、資料16ページにスケジュールを示しています。また、市街化調整区域のため、現状の建物を使用する場合と、更地にして新しく建てる場合では、条件が変わってきます。 |
| 委員 | 老人ホームという意見もありましたが、今はどうなっていますか。 |
| 事務局 | 住民説明会でもそのような話もありましたが、現在はプロポーザル募集を実施していますので、契約した事業者次第になります。 |
| 委員 | 住民説明会で、市長も一時は更地にする検討もあったと言っていたのですが、住民説明会を経てプロポーザル募集に至ったと伺っています。 現状の建物を残し、所有権は市に残したままでのプロポーザル募集のため、更地にしたいという業者が手を挙げても条件に合わないということになると思います。 |

【協議事項④】

行政財政改革推進実施計画（R4～R8）の取組項目について（資料⑥ P32）

事務局より、R4からR8までの行財政改革推進実施計画（案）の説明を行い、意見交換を実施。

行財政改革推進実施計画（案）については、総合計画後期基本計画（案）の行政改革大綱（案）に基づき、また現行の行革推進実施計画を引き継いだ上で、見直しを行っている旨を説明。

＜追加した個別取組項目＞

- ・ SNS 等を活用した市政情報の発信
- ・ 職員のスキルアップ
- ・ マイナンバーカードの普及・活用促進
- ・ 使用料・手数料の見直し
- ・ 児童福祉事業の見直し検討

主な意見等の要旨は次のとおり。

| | |
|-----|---|
| 委員 | No. 8の個別取組事業「効果的な官民連携の推進」についてですが、指定管理者制度において、企業努力によって利益が上がる場合には、指定管理者の利益になるような方法の検討ができないでしょうか。 |
| 事務局 | 現状、指定管理者制度には、公募型と非公募型があります。公募型の代表では、道の駅があり、民間事業者のノウハウを生かしてさらに利活用を進め、行政サービスの質を上げようとしています。 公募型については競争で業者決定していますので、利益が上がる部分については、事業者が利益を得ることも可能だと考えています。 非公募型の代表では、コミュニティセンターがありますが、利益を求めないため、地域の団体等をお願いしている現状です。 非公募の施設については、事業者が利益を得るとするのは難しいと考えています。ご意見については、庁内で情報共有します。 |
| 委員 | No. 1の個別取組事業「SNS等を活用した市政情報の発信」について、若い世代に情報を届けたいということでしたが、市はどのような情報を届けたいのか、若い世代はどのような情報を必要としているのでしょうか。 また、どのような媒体で情報が届くことを望んでいるかをヒアリングすることや、若い世代を対象としたワークショップを開催し、市のWEBサイトがこんな風になったら良い等、広く市民から意見を聞く形でWEBサイトやSNSを運用していただけたらと思いますので、検討していただけますでしょうか。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>若い世代にどのような情報を届けるか、どのような方法で届けていくかについては、まさに本行財政改革推進実施計画で取り組んでいく必要があると考えています。</p> <p>現在の発信方法としては、Facebook, インスタグラムですが、あまりフォロワー数が増えていない現状です。たつの市のYouTubeもあります。こちらもあまり視聴数が伸びていません。どのようにして若い世代の視聴者を増やしていくかが課題となっています。</p> <p>ご提案がありましたように、若い世代に参加してもらえるワークショップを開催する等、たつの市を盛り上げていこうという流れに変えていける取組を検討していきたいと思います。</p> <p>また、昨年度神戸親和女子大学の学生有志の方から、たつの市の活性化について何点か提案をいただきました。その中で広報に対して、受け入れやすいレイアウトについてアドバイスをいただきながら改善の取組を行っています。</p> |
| 委員 | <p>少子化が大きな課題となってきている中で、児童福祉事業の見直し検討についてですが、子育て広場等の地域に根ざした形で幅広く参加できるものも大切だと思いますが、姫路市のこどもの館のような、たつの市流のこどもの城のようなものが必要になってくるのではないのでしょうか。</p> <p>今後は財源の始末のことだけでなく投資を行っていくことも必要ではないかと考えています。</p> |
| 事務局 | <p>行革というとは財源を始末するだけのようには思われますが、集中と選択で、時代に合わない事業については見直しを積極的に行い、新たな需要に適用できるような行政サービスを提供していきたいと考えています。</p> |